

## 環境先進都市に向けた政策の推進について（継続）

地球環境への関心が日を追うごとに高まっている中、低炭素社会の実現に向けて温室効果ガスの大幅削減などへの取り組みとして、行政と企業が果たすべき役割と責任は、今日の社会問題として非常に大きなものがあります。

桐生市におきましても群馬大学工学部（現理工学部）の「地域力による脱温暖化と未来の街－桐生の構築」構想が平成20年9月に科学技術振興機構（JST）の事業として採択されたことを契機として、産学官が一体となって脱温暖化対策・エネルギーに関する諸環境施策に取り組んできたところではありますが、平成27年3月には、桐生市の地域特性やまちづくり、環境問題への取り組みなどを踏まえた「環境先進都市」を目指しての30年後の将来像を示した「桐生市環境先進都市将来構想」が策定されました。今後は当構想に基づき環境先進都市に向けた環境整備の具現化を目指していただくと共に、特に以下の案件について強力に推進されますことを要望いたします。

1. 環境先進都市を目指しての地産地消の再生可能エネルギー（潜在水力による B級電力・木材屑等ペレット燃料・里山資源エネルギー等）導入による低炭素型並びに省エネルギー型まちづくりの推進
2. 花と緑があふれたまちなかストリークの整備促進
3. 街並みや景観とマッチしたごみステーションの整備促進

### 桐生市からの回答

#### 1 について

環境先進都市を目指したまちづくりにつきましては、「桐生市環境先進都市将来構想」に基づき、様々な取り組みを推進しておりますが、なかでも地産地消の再生可能エネルギーの導入は、地域内の経済効果や災害時等における電力供給の観点からも、大変重要な施策であると認識しております。

本市では今年度、市役所本庁舎に環境に配慮したクリーンな電力を導入し温室効果ガスの削減に努めているところですが、今後もそのような取り組みを推進し、本市の地域特性を生かしながら、エネルギーの地産地消の実現に向け調査・研究を進めてまいりたいと考えております。

また、これら取り組みを推進するなかで、SDGsの目標7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、目標12「つくる責任 つかう責任」、目標13「気候変動に具体的な対策を」等の達成にも貢献してまいりたいと考えております。

[回答担当] 市民生活部環境課環境都市推進係

#### 2 について

花と緑があふれたまちなかストリークの整備につきましては、公共空間における緑化の充実を図りつつ、民有地の緑化を図るため、街路樹の維持管理を適切に行うよう努めているところでもあります。

また、令和3年度には、「花と緑の大切さを知ってもらい、地域の活性化や観光振興につなげていくこと」を目的として、「花と緑のぐんまづくり～ふるさとキラキラフェスティバル～」を開催し、市内各所の飾花などを実施する予定であり、緑化の普及啓発に努めてまいりたいと考えております。

[回答担当] 都市整備部公園緑地課緑化推進係

### 3 について

本市におきましては、市内全域で約3,000か所のごみステーションがありますが、桐生地域では狭あい道路も多く、約半数が道路や歩道上にごみ袋を直接置く方法となっております。また、これらごみステーションの設置から維持管理につきましては、一貫して利用される方々をお願いしているところです。

御要望のまち並みや景観とマッチしたごみステーションの整備については、箱型のごみ集積施設の設置などが考えられますが、設置や管理は上記のとおり利用される方が行っており、かつ、ごみステーションの約半数が路上にある現状を踏まえ、設置場所の確保や交通事情など課題が多くあるものと考えております。

このような状況の中、市としましては、本町通りなど市街地においては、なるべく早い時間帯でのごみ収集を行っているところです。

今後につきまして、利用される方からごみステーションの設置に関する相談を受けた場合には、まち並みや景観に配慮していただくよう、お願いしてまいりたいと考えております。

[回答担当] 市民生活部清掃センター清掃係